

<解説>

新潟県の体制は「大学主導による、大学と県とのネットワークの中で調整を行い、へき地への医師の配置」を行っているという点で特徴的である。この方法は短期的には県が自由に配置できる医師数は減るが、義務年限後も県内にとどまる医師が多くいることから長期的には、県の医療体制に寄与するものと思われる。

ただし前述した3つのポイントがあり、キーパーソンが大学内の各科医局と新潟県とのネットワークをまとめることができたからこそ、この体制が構築できたと考えられる。

現在、様々な原因で各地の医学部・医科大学の医局制度は十分に機能できなくなっており、多くの地域では新潟県のような体制を構築することは不可能であると考えられる。

ただ一部には、十分な組織の力を持ち、都道府県内の医療体制に影響力を持っている大学医局も残存していると思われる。そうした地域では大学が研修医に対しては研修制度を通じて、自治医科大学卒業医師と他大学卒業生とのネットワーク形成を促し、入局制度を通じて同じ専門科に所属する医師の中でのネットワーク形成を促し、さらに県が自治医科大学卒業医師の赴任に関して大学とネットワークを構築していくことで、大学がイニシアチブを持ちつつ、県の意向も考慮して、かつ自治医科大学卒業生のキャリアデザインを生かすことができるような医師の配置体制を作ることも可能だと思われる。

平成22年6月1日

都道府県へき地保健医療担当者 殿  
都道府県へき地医療支援機構専任担当官 殿

自治医科大学地域医療学センター長  
(研究代表者) 梶 井 英 治

厚生労働科学研究「都道府県へき地保健医療計画策定支援とその実施に関する研究」へのご協力をお願い  
(へき地を中心とする地域医療分析調査のご依頼)

謹啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、私どもは厚生労働科学研究「都道府県へき地保健医療計画策定支援とその実施に関する研究」班を立ち上げました。本研究班は、都道府県へき地保健医療計画策定に関する助言等支援を通して、更なるへき地医療の充実を図ることを目的としています。貴都道府県におかれましては、へき地保健医療計画策定指針に則り、第1次へき地保健医療計画を策定されることと存じ上げますが、微力ながら私どもに、そのご協力をさせて頂ければ幸いです。つきましては、今後の助言等支援の基礎資料とするべく、調査、検討項目を作成しましたので、貴都道府県にて調査頂きたいようお願い申し上げます。

なお、今後、この調査結果をもとに助言等具体的支援方策を検討してまいります。その際、調査結果は都道府県名が分からない形で集計し、他都道府県のへき地保健医療計画策定時にも資料として活用させて頂くことを申し添えさせていただきます。

御忙しいところ大変恐縮ですが、平成22年10月15日(金)までにご回答頂けますようお願い申し上げます。

謹白

(備考)

「平成22年度へき地保健医療計画策定のためのへき地を中心とする地域医療分析等」は広くへき地医療に関する問題を扱っていますので、単独の部署では回答が難しい場合があります。設問の内容に応じて、適宜複数の部署や、必要な場合には市町村、大学、病院、診療所等に問い合わせを行って頂き、ご回答ください。

また、調査項目は第1回全国へき地医療支援機構等連絡会議で資料3として示されたものと同一で、第1次へき地保健医療計画策定指針の別添1の「へき地医療現状調査項目」を全て包含しています。

後日、事務局より調査項目、回答様式ファイルをメールにてご連絡申し上げます。ご回答もメールにてお返事頂けますよう御願ひ致します。

担当者連絡先
自治医科大学地域医療学センター地域医療学部門
研究分担者 神田健史
事務担当 日高まゆみ
TEL 0285-58-7394 FAX 0285-44-0628

平成22年6月1日  
事務連絡

各都道府県衛生主管（部）局  
へき地保健医療対策担当課長 殿

厚生労働省医政局指導課  
救急・周産期医療等対策室長

**へき地保健医療対策に関する厚生労働科学研究班の実施するへき地医療現状調査について（協力依頼）**

日頃より、へき地保健医療対策の推進にご尽力いただきありがとうございます。

また、5月24日に開催されました「全国へき地医療支援機構等連絡会議」につきましては、へき地医療支援機構専任担当官、貴部局職員等の派遣をいただき、併せて御礼申し上げます。第11次へき地保健医療計画策定指針等のご説明の他、短時間ながらもグループワーキングを行い、へき地医療に関する厚生労働科学研究班のご協力の下、短時間ながらも有意義な意見交換やネットワーク作りができたのではないかと思います。

同連絡会議の際にご連絡差し上げたのですが、このたびへき地医療に関する厚生労働科学研究班（主任研究者：梶井英治・自治医科大学地域医療学センター長）において、全国のへき地医療の現状を把握するための実態調査をさせていただくことになりました。

同研究班は、今後各都道府県が第11次へき地保健医療計画の策定作業を進めていく上で技術的助言を行うことも目的としており、この度の調査は技術的助言等を行って行くにあたり、各都道府県のへき地保健医療の現状について基礎的な情報を調査するものです。

ご担当におかれましてはご多忙のところ誠に恐縮でございますが、研究班の実施いたします現状調査に対するご協力につき、ご高配を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

なお、調査に関するお問い合わせや調査票の登録等につきましては、研究班の担当者宛にいただきますようよろしくお願いいたします。

## 平成22年度 へき地保健医療計画策定のためのへき地を中心とする地域医療分析等

回答は添付の Excel ファイルに入力してください。はじめに都道府県名を記載してください。特に断りのない限り平成22年4月30日現在の状況を入力してください。文末に【PD】とある設問は、プルダウン（表示される選択肢から回答を選ぶ方式）で入力し、それ以外の設問は、文、数値等を欄内に自由に入力してください。また、文末に（※）とある設問は、第11次へき地保健医療計画策定指針の別添にある調査項目と同じです。同じ内容を記載して下さい。なお、設問中のへき地診療所とは、へき地保健医療対策等実施要綱にあるへき地診療所を指し、国民健康保険直営診療所を含みます。

### 1. 都道府県の取組について

第10次へき地保健医療計画策定の有無

- (1) 医療計画とは別に第10次へき地保健医療計画を策定した都道府県は○を、策定しなかった都道府県は×を選択してください。【PD】

第10次へき地保健医療計画を策定しなかった理由

- (2) (1) で×を選択した都道府県は、策定しなかった理由等を記載してください。

へき地保健医療対策に関する協議会の開催の有無

- (3) へき地保健医療対策に関する協議会（へき地保健医療対策事業についての通知による）が定期的（年1回以上）に開催されている都道府県は○を、開催されていない都道府県は×を選択してください。【PD】

### 2. へき地で勤務する医師の確保について

（へき地医療に従事する医師について）

へき地医療に従事する医師数調査の有無

- (1) 都道府県のへき地医療に従事する医師数に関する調査が行われている場合は○を、行われていない場合は×を選択してください。【PD】

へき地医療に従事する医師数調査の項目

- (2) (1) で○を選択した都道府県は、その調査の項目について記載してください。

(1) で×を選択した都道府県、および、○を選択しても下記の項目についての調査結果を持っていない都道府県は、へき地診療所の医師や、へき地を有する市町村の医師等に調査をした上で(3)～(5)にご回答ください。

へき地医療に従事する医師の必要数

- (3) 都道府県内のへき地医療に従事する医師は何人必要でしょうか。(※)

へき地医療に従事する医師の不足数

- (4) 現在、都道府県内のへき地医療に従事する医師はあと何人不足しているでしょうか。(※)

へき地医療に従事する医師像

- (5) 都道府県内のへき地医療に従事する医師として、どのような医師が必要でしょうか。

か。

(へき地医療に従事する医師確保のための取組について)

へき地医療に従事する医師確保のための取組の有無

(6) へき地医療に従事する医師確保のための特別な取組を行っている場合は○を、行っていない場合は×を選択してください。【PD】

へき地医療に従事する医師確保のための取組の内容

(7) (6) で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。

へき地医療に従事する医師確保のために必要な取組の有無

(8) へき地医療に従事する医師確保のために、今後特別な取組を行う必要がある場合は○を、必要がない場合は×を選択してください。【PD】

へき地医療に従事する医師確保のために必要な取組の内容

(9) (8) で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。

自治医科大学卒業医師数

(10) 都道府県出身の自治医科大学卒業医師の総数（義務終了後に限る）を記載してください。（※）

自治医科大学卒業医師県内定着数

(11) (10) のうち都道府県内に留まっている医師数を記載してください。（※）

自治医科大学卒業医師のへき地定着数

(12) (10) のうち都道府県内のへき地に留まっている医師数を記載してください。（へき地に留まっている医師とは、過疎地域自立促進特別措置法、山村振興法、離島振興法及び豪雪地帯対策特別措置法の指定地域で診療に従事している医師およびへき地診療所の医師を指し、へき地医療拠点病院に勤務している医師は含みません）（※）

自治医科大学卒業医師のへき地医療支援従事医師数

(13) (10) のうち都道府県内のへき地医療拠点病院に勤務し、代診等実際にへき地医療を支援する業務に従事している医師数を記載してください。（※）

へき地医療に従事することを条件とした地域卒の有無

(14) 大学医学部の入学制度に、都道府県内のへき地医療に従事することを条件とした地域卒がある場合は○を、地域卒がない、あるいは地域卒はあるが卒業後のへき地医療従事を条件としていない場合は×を選択してください。【PD】

へき地医療に従事することを条件とした奨学金の有無

(15) へき地医療に従事することを条件とした医学生対象の奨学金制度がある場合は○を、医学生を対象とした奨学金制度がない、あるいは奨学金制度はあるが、卒業後のへき地医療従事を条件としていない場合は×を選択してください。【PD】

へき地医療関連寄附講座等の有無

(16) 都道府県が、へき地医療に関連した寄附講座を大学医学部に設置している場合は○を、していない場合は×を選択してください。【PD】

自治医大卒業医師等の定着を図る取組・工夫の有無

(17) 都道府県の自治医科大学卒業医師およびへき地医療に従事することを条件にした

地域卒業医師・奨学金貸与医師をへき地に定着させる取組・工夫がされている場合は○を、されていない場合は×を選択してください。【PD】

自治医大卒業医師等の定着を図る取組・工夫の内容

(18) (17) で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。

(へき地医療に従事するための動機付け支援等について)

大学と協同したへき地医療に従事する医師確保対策の有無

(19) 都道府県が、大学と協同してへき地医療に従事する医師確保対策を講じている場合は○を、講じていない場合は×を選択してください。【PD】

大学と協同したへき地医療に従事する医師確保対策の内容

(20) (19) で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。

自治医科大学学生とのコミュニケーションの有無

(21) 自治医科大学学生に対し、都道府県が定期的（年1回以上）に直接接し、コミュニケーションをとる機会を設けている場合は○を、設けていない場合は×を選択してください。【PD】

へき地医療に従事することを条件とした地域卒学生・奨学生とのコミュニケーションの有無

(22) へき地医療に従事することを条件とした地域卒学生・奨学生に対し、都道府県が定期的（年1回以上）に直接接し、コミュニケーションをとる機会を設けている場合は○を、設けていない場合は×を選択してください。【PD】

へき地医療に従事することを条件とした地域卒学生・奨学生に対する特別なカリキュラムの有無

(23) へき地医療に従事することを条件にした地域卒学生・奨学生に対し、都道府県が主催し、現場で行う地域医療夏期実習等の特別なカリキュラムを行っている都道府県は○を、行っていない都道府県は×を選択してください。【PD】

地域医療実習等に対する財政的支援の有無

(24) 自治医科大学学生およびへき地医療に従事することを条件にした地域卒学生・奨学生が行う地域医療夏期実習等の特別なカリキュラムに対し何らかの財政的支援を行っている都道府県は○を、行っていない都道府県は×を選択してください。【PD】

へき地医療従事のメリットについてのPRの有無

(25) へき地医療に従事する医師の募集に際し、公務員として身分が保証される等としてメリットをPRしている都道府県は○を、していない都道府県は×を選択してください。【PD】

中学生・高校生を対象とした啓発等の有無

(26) 中学生・高校生を対象に、へき地医療の魅力を伝える啓発活動等を行っている都道府県は○を、行っていない都道府県は×を選択してください。【PD】

(へき地医療を担う総合医の育成支援について)

全医学生に対するへき地保健医療教育の有無

(27) 都道府県内の大学等、関連した大学で、全医学生に対してへき地保健医療に関する教育が行われている都道府県は○を、行われていない都道府県は×を選択して

ください。【PD】

全医学生がへき地医療現場を経験できるカリキュラムの有無

- (28) 都道府県内の大学等、関連した大学で、全医学生がへき地医療の現場を経験できるカリキュラムがある都道府県は○を、ない都道府県は×を選択してください。

【PD】

総合医育成のための後期臨床研修プログラム等の有無

- (29) 都道府県内の基幹型臨床研修病院・大学病院等の研修指定病院で、へき地医療を担う総合医の育成を目的とした後期臨床研修プログラム等がある都道府県は○を、ない都道府県は×を選択してください。【PD】(※)

### 3. へき地医療支援機構について

へき地医療支援機構の設置の有無

- (1) へき地医療支援機構が設置されている都道府県は○を、設置されていない都道府県は×を選択してください。【PD】

へき地医療支援機構の運営者

- (2) へき地医療支援機構の運営者を記載してください。

へき地医療支援機構への代診医派遣依頼件数

- (3) 平成21年度における、へき地医療支援機構に対するへき地診療所からの代診医派遣依頼総件数を記載してください。(※)

へき地医療支援機構からの代診医派遣実績

- (4) へき地医療支援機構が関与した、へき地診療所への代診医派遣実施回数と延べ派遣日数を記載してください。(※)

へき地医療支援機構の評価、指導、公開の有無

- (5) 都道府県がへき地医療支援機構を評価し、必要に応じて指導し、それらの情報を公開している場合は○を、していない場合は×を選択してください【PD】

へき地医療支援機構の評価、指導、公開の内容

- (6) (5) で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。

へき地医療支援機構に対する支援の有無

- (7) 都道府県がへき地医療支援機構に対し何らかの支援をしている場合は○を、支援していない場合は×を選択してください【PD】

へき地医療支援機構に対する支援の内容

- (8) (7) で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。

(へき地医療支援機構の業務について)

(9)～(34)はへき地医療支援機構の業務についての設問です。現行の役割のほか、新たなへき地医療支援機構の役割として求められるものも含んでいます。現在の状況について記載してください。

派遣医師の登録業務実施の有無

- (9) へき地医療支援機構が代診派遣医師の登録業務を行っている場合は○を、行って

いない場合は×を選択してください。【PD】

派遣医師の登録業務を行っている組織、部署

- (10) (9) で×を選択した都道府県は、へき地医療支援機構以外で派遣医師の登録業務を行っている組織、部署の名称を記載してください。

医師派遣の調整等の業務実施の有無

- (11) へき地医療支援機構が代診医師派遣の調整等の業務を行っている場合は○を、行っていない場合は×を選択してください。【PD】

医師派遣の調整等の業務を行っている組織、部署

- (12) (11) で×を選択した都道府県は、へき地医療支援機構以外で医師派遣の調整等の業務を行っている組織、部署の名称を記載してください。

へき地医療従事者に対する研修計画の作成等の業務実施の有無

- (13) へき地医療支援機構がへき地医療従事者に対する研修計画の作成等の業務を行っている場合は○を、行っていない場合は×を選択してください。【PD】

へき地医療従事者に対する研修計画の作成等の業務を行っている組織、部署

- (14) (13) で×を選択した都道府県は、へき地医療支援機構以外でへき地医療従事者に対する研修計画の作成等の業務を行っている組織、部署の名称を記載してください。

総合的診療支援事業の企画・調整等の業務実施の有無

- (15) へき地医療支援機構が総合的診療支援事業の企画・調整等の業務を行っている場合は○を、行っていない場合は×を選択してください。【PD】

総合的診療支援事業の企画・調整等の業務を行っている組織、部署

- (16) (15) で×を選択した都道府県は、へき地医療支援機構以外で総合的診療支援事業の企画・調整等の業務を行っている組織、部署の名称を記載してください。

へき地医療拠点病院の活動の評価の有無

- (17) へき地医療支援機構がへき地医療拠点病院の活動の評価を定期的（年1回以上）に行っている場合は○を、行っていない場合は×を選択してください。【PD】

へき地医療拠点病院の活動の評価を行っている組織、部署

- (18) (17) で×を選択した都道府県は、へき地医療支援機構以外でへき地医療拠点病院の活動の評価を定期的（年1回以上）に行っている組織、部署の名称を記載してください。

へき地医療拠点病院における巡回診療の実施に関する業務実施の有無

- (19) へき地医療支援機構がへき地医療拠点病院における巡回診療の実施に関する業務を行っている場合は○を、行っていない場合は×を選択してください。【PD】

へき地医療拠点病院における巡回診療の実施に関する業務を行っている組織、部署

- (20) (19) で×を選択した都道府県は、へき地医療支援機構以外でへき地医療拠点病院における巡回診療の実施に関する業務を行っている組織、部署の名称を記載してください。

地域医療分析実施の有無



(21) へき地医療支援機構がへき地を中心とした地域医療分析を行っている場合は○を、行っていない場合は×を選択してください。【PD】

地域医療分析を行っている組織、部署

(22) (21) で×を選択した都道府県は、へき地医療支援機構以外でへき地を中心とした地域医療分析を行っている組織、部署の名称を記載してください。

へき地医療支援に従事している医師に対する研究費の配分に関する業務実施の有無

(23) へき地医療支援機構がへき地医療支援に従事している医師に対する研究費の配分に関する業務を行っている場合は○を、行っていない場合は×を選択してください。【PD】

へき地医療支援に従事している医師に対する研究費の配分に関する業務を行っている組織、部署

(24) (23) で×を選択した都道府県は、へき地医療支援機構以外でへき地医療支援に従事している医師に対する研究費の配分に関する業務を行っている組織、部署の名称を記載してください。

へき地保健医療情報システムの登録、更新、管理等の業務実施の有無

(25) へき地医療支援機構がへき地保健医療情報システムの登録、更新、管理等の業務を行っている場合は○を、行っていない場合は×を選択してください。【PD】

へき地保健医療情報システムの登録、更新、管理等の業務を行っている組織、部署

(26) (25) で×を選択した都道府県は、へき地医療支援機構以外でへき地保健医療情報システムの登録、更新、管理等の業務を行っている組織、部署の名称を記載してください。

へき地医療に従事する医師に対する就職斡旋等の業務実施の有無

(27) へき地医療支援機構がへき地医療に従事する医師に対する就職斡旋等の業務を行っている場合は○を、行っていない場合は×を選択してください。【PD】

へき地医療に従事する医師に対する就職斡旋等の業務を行っている組織、部署

(28) (27) で×を選択した都道府県は、へき地医療支援機構以外でへき地医療に従事する医師に対する就職斡旋等の業務を行っている組織、部署の名称を記載してください。

へき地医療に従事する医師のドクタープール機能の有無

(29) へき地医療支援機構がへき地医療に従事する医師のドクタープール機能を担っている場合は○を、担っていない場合は×を選択してください。【PD】

へき地医療に従事する医師のドクタープール機能を担っている組織、部署

(30) (29) で×を選択した都道府県は、へき地医療支援機構以外でへき地医療に従事する医師のドクタープール機能を担っている組織、部署の名称を記載してください。

へき地医療に従事する医師のキャリアデザイン育成機能の有無

(31) へき地医療支援機構がへき地医療に従事する医師のキャリアデザイン育成機能を担っている場合は○を、担っていない場合は×を選択してください。【PD】

へき地医療に従事する医師のキャリアデザイン育成機能を担っている組織、部署

(32) (31) で×を選択した都道府県は、へき地医療支援機構以外でへき地医療に従事す

る医師のキャリアデザイン育成機能を担っている組織、部署の名称を記載してください。

へき地保健医療対策に関する協議会での助言、調整等の業務実施の有無

(33) へき地医療支援機構がへき地保健医療対策に関する協議会での助言、調整等の業務を行っている場合は○を、行っていない場合は×を選択してください。【PD】

へき地保健医療対策に関する協議会での助言、調整等の業務を行っている組織、部署

(34) (33) で×を選択した都道府県は、へき地医療支援機構以外でへき地保健医療対策に関する協議会での助言、調整等の業務を行っている組織、部署の名称を記載してください。

(専任担当官について)

専任担当官のへき地での診療経験の有無

(35) へき地医療支援機構の専任担当官にへき地での診療経験がある場合は○を、ない場合は×を選択してください。【PD】(※)

専任担当官のへき地での診療経験の内容

(36) (35) で○を選択した都道府県は、その診療経験の内容(勤務地、診療科、当該医療機関の常勤医数等)を記載して下さい。(※)

専任担当官の勤続年数

(37) へき地医療支援機構の専任担当官としての勤続年数を記載してください。(※)

専任担当官のへき地関連業務従事日数

(38) 平成21年度の実績において、へき地医療支援機構の専任担当官が一週間の中でへき地医療を支援する業務((39)のア、イの業務)に従事している日数について、以下の選択肢(①～⑤)から選択してください。【PD】(※)

<選択肢>

① 0～1日    ② 1～2日    ③ 2～3日    ④ 3～4日    ⑤ 4～5日

専任担当官の業務別専従時間

(39) 平成21年度の実績において、へき地医療支援機構の専任担当官が下記の業務(ア～エ)それぞれについて、一週間の中で専従している日数を以下の選択肢(①～④)から選択してください。【PD】(※)

<専任担当官の業務>

ア へき地診療所への代診

イ アの業務以外のへき地医療支援機構としての本来業務(代診医派遣調整、医療計画策定への関与、へき地医療従事者への研修計画立案、へき地医療現場の意見の調整・集約等)

ウ へき地医療拠点病院の業務(へき地医療拠点病院での診療等)

エ その他(ア～ウの業務以外の業務)

<選択肢>

① 0～1日    ② 1～2日    ③ 2～3日    ④ 3～4日

専任担当官の現地視察回数

- (40) 平成21年度に、へき地医療支援機構の専任担当官が、へき地医療現場の現状把握等を目的として、へき地医療現場を訪問、視察した延べ回数を記載してください。(※)

専任担当官の首長等との意見交換回数

- (41) 平成21年度に、へき地医療支援機構の専任担当官が、へき地医療現場の市町村長等の首長等と意見交換を行った延べ回数を記載してください。(※)

専任担当官がへき地医療関連業務に専念するための工夫の有無

- (42) へき地医療支援機構の専任担当官がへき地医療に関する業務に専念できるような工夫をしている場合は○を、していない場合は×を選択してください。【PD】

専任担当官がへき地医療関連業務に専念するための工夫の内容

- (43) (42) で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。

#### 4. へき地医療拠点病院について

へき地医療拠点病院の現状と実績

- (1) 都道府県のすべてのへき地医療拠点病院について下記の項目について記載、選択してください。(※)

ア 正式な施設名称

イ 開設者【PD】(以下の選択肢(①～⑦)から選択してください。)

①国立病院機構

②国立大学法人

③地方公共団体

④地方独立行政法人

⑤公的団体(日本赤十字社、社会福祉法人恩賜財団済生会、全国厚生連、社会福祉法人北海道社会事業協会)

⑥医療法人

⑦社会医療法人

ウ 所在地(〇〇県〇〇市)

エ 全病床数

オ 全医師数(非常勤医師は常勤換算して加算してください。)

カ 標準医師数(医療法施行規則第19条第1項に基づく標準医師数)

キ 一日平均入院患者数(平成21年度実績)

ク 一日平均外来患者数(平成21年度実績)

ケ 巡回診療の実施回数と延べ日数及び延べ受診患者数(平成21年度実績)

コ 医師派遣実施回数と延べ派遣日数(平成21年度実績)

サ 代診医派遣実施回数と延べ派遣日数(平成21年度実績)

シ 初期臨床研修医数(平成21年度実績)(通年である場合以外は常勤換算と同じ手法で加算してください。)

ス へき地医療を経験できる初期臨床研修プログラムの有無【PD】(ある場合は○)

を、ない場合は×を選択してください。)

セ 医学生のへき地医療実習等への関与の有無（平成21年度実績）【PD】（関与がある場合は○を、ない場合は×を選択してください。)

ソ ITによるへき地医療の診療支援の実施状況

タ へき地医療に従事する医師からの都道府県等に対する要望

へき地医療拠点病院に対する支援内容

(2) 都道府県からのへき地医療拠点病院に対する支援内容について記載してください。

へき地医療拠点病院の代診医派遣等に対して動機付けのためにしている工夫の有無

(3) へき地医療拠点病院の代診医派遣等に対して動機付けのための工夫をしている都道府県は○を、していない都道府県は×を選択してください。【PD】

へき地医療拠点病院の代診医派遣等に対して動機付けのためにしている工夫の内容

(4) (3) で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。

## 5. へき地診療所について

へき地診療所の現状と実績

(1) 都道府県のすべてのへき地診療所について下記の項目について記載、選択してください。(※)

ア 正式な施設名称

イ 開設者【PD】（以下の選択肢(①～⑦)から選択してください。)

①国立病院機構

②国立大学法人

③地方公共団体

④地方独立行政法人

⑤公的団体（日本赤十字社、社会福祉法人恩賜財団済生会、全国厚生連、社会福祉法人北海道社会事業協会）

⑥医療法人

⑦社会医療法人

ウ 所在地（〇〇県〇〇市）

エ 全病床数（有床診療所のみ）

オ 全医師数（非常勤医師は常勤換算して加算してください。)

カ 現在の常勤医の勤続年数（常勤医が複数名いる場合は各々について記載して下さい。)

キ 一日平均入院患者数（平成21年度実績）（有床診療所のみ）

ク 一日平均外来患者数（平成21年度実績）

ケ へき地医療を経験できる初期臨床研修プログラムへの参加・関与の有無（平成21年度実績）【PD】（参加・関与がある場合は○を、ない場合は×を選択してください。)

コ 医学生へのき地医療実習等への関与の有無（平成21年度実績）【PD】（関与

がある場合は○を、ない場合は×を選択してください。)

サ ITによるへき地医療の診療支援の活用状況

シ へき地医療に従事する医師からの都道府県等に対する要望

へき地診療所に対する施設整備支援の有無

- (2) へき地診療所に対し、施設（特に代診医、医学生、研修医等のための宿泊施設等）整備の支援を行っている都道府県は○を、行っていない都道府県は×を選択してください。【PD】

へき地診療所に対する施設整備支援の内容

- (3) (2) で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。

## 6. へき地医療に従事する医師のキャリアデザインについて

へき地医療に従事する医師のキャリアデザイン作成の有無

- (1) 都道府県あるいは都道府県の関連する大学、病院等が、都道府県の事情等を反映したへき地医療に従事する医師のキャリアデザインを検討、作成している場合は○を、どこも作成していない場合は×を選択してください。【PD】

へき地医療に従事する医師のキャリアデザインの内容

- (2) (1) で○を選択した都道府県は、その内容（作成者および対象、具体的内容等）を記載してください。

キャリアデザインの検討のための関係者間協議の有無

- (3) 都道府県の事情等を反映したへき地医療に従事する医師のキャリアデザインの検討のために、へき地診療所やへき地医療拠点病院等の関係者間で協議がされている場合は○を、されていない場合は×を選択してください。【PD】

キャリアデザインの検討のための関係者協議の参加者

- (4) (3) で○を選択した都道府県は、その協議に参加している関係者を記載してください。

へき地での診療経験を評価する仕組みの有無

- (5) へき地での診療経験等を評価する仕組みがある場合は○を、ない場合は×を選択してください。【PD】

へき地での診療経験を評価する仕組みの内容

- (6) (5) で○を選択した都道府県は、その内容を記載してください。

子育て、家族支援などの配慮の有無

- (7) へき地医療に従事する医師に対する子育て、家族支援などへの配慮がある場合は○を、ない場合は×を選択してください。【PD】

子育て、家族支援などの配慮の内容

- (8) (7) で○を選択した都道府県は、その内容を記載してください。

臨機応変な休暇取得できる体制の有無

- (9) へき地医療に従事する医師が産休、育休等臨機応変な休暇を取得できる体制があ

る場合は○を、ない場合は×を選択してください。【PD】

臨機応変な休暇取得できる体制の内容

(10) (9) で○を選択した都道府県は、その内容を記載してください。

へき地勤務に偏らない体制の有無

(11) へき地医療に従事する医師が、へき地のみの勤務に偏らない体制がある場合は○を、ない場合は×を選択してください。【PD】

へき地勤務に偏らない体制の内容

(12) (11) で○を選択した都道府県は、その内容を記載してください。

へき地医療に従事する医師の身分の現状について

(13) へき地医療に従事する医師の身分の扱いについて研修等で中核病院、大病院等に  
いる時も含み、具体的内容を記載してください。

## 7. 医療提供体制について

ヘリコプター搬送について

(1) へき地医療におけるヘリコプター等の活用の現状について記載してください。(ヘリコプター等は、ドクターヘリ、離島巡回診療ヘリ、防災ヘリ、自衛隊ヘリ等その運行形態は問いません。それぞれについて記載してください。)

## 8. へき地歯科医療について

へき地歯科医療の現状調査の有無

(1) へき地における歯科医療について現状調査が行われている場合は○を、行われていない場合は×を選択してください。【PD】

へき地歯科医療の現状調査の項目

(2) (1) で○を選択した都道府県は、その現状調査の項目について記載してください。

へき地歯科医療の実績

(3) へき地における歯科診療について、歯科医師派遣、歯科医師代診、巡回歯科診療、訪問歯科診療等の実績を記載してください。ない場合は「なし」と記載してください。

へき地歯科医療に対する支援の内容

(4) へき地における歯科医療に対する支援の内容について具体的に記載してください。

## 9. へき地看護に従事する看護職について

へき地看護の現状調査の有無

(1) へき地診療所、へき地医療拠点病院の看護職（又は看護師・助産師）の現状調査が行われている場合は○を、行われていない場合は×を選択してください。【PD】

へき地看護の現状調査の項目

(2) (1) で○を選択した都道府県は、その現状調査の項目について記載してください。

(1) で×を選択した都道府県、および、○を選択しても下記の項目についての調査結

果を持っていない都道府県は、へき地診療所・へき地医療拠点病院や、へき地を有する市町村に調査をした上で（３）、（４）にご回答ください。

へき地看護に従事する看護職の必要数

（３）都道府県内のへき地診療所・へき地医療拠点病院の看護職（又は看護師・助産師）は何人必要でしょうか。

へき地看護に従事する看護職の不足数

（４）現在、都道府県内のへき地診療所・へき地医療拠点病院の看護職（又は看護師・助産師）はあと何人不足しているでしょうか。

へき地診療所に対する看護師派遣の有無

（５）都道府県が関与して、へき地診療所に対する看護師派遣が行われている場合は○を、行われていない場合は×を選択してください。【PD】

へき地診療所に対する看護師派遣の内容

（６）（５）で○を選択した都道府県は、その内容（関与している組織、病院等や実績）について記載してください。

へき地看護における看護師養成所等との連携

（７）へき地診療所やへき地医療拠点病院の看護職の確保や支援において、都道府県内にある看護師・助産師・保健師養成所（看護系大学を含む）との間に何らかの連携がある場合は○を、連携がない場合は×を選択してください。【PD】

へき地看護における看護師養成所等との連携の内容

（８）（７）で○を選択した都道府県は、その内容を記載してください。

へき地看護についての教育の有無

（９）都道府県内にへき地看護（離島、山村・過疎、豪雪地帯等の地域特性を考慮した看護）についての教育が行われている看護師・助産師・保健師養成所（看護系大学を含む）がある場合は○を、ない場合は×を選択してください。【PD】

へき地看護に従事する看護師に対する研修支援の有無

（１０）へき地診療所やへき地医療拠点病院の看護職に対する研修支援（へき地医療支援機構の取組を含む）が行われている場合は○を、行われていない場合は×を選択してください。【PD】

へき地看護に従事する看護師に対する研修支援の内容

（１１）（１０）で○を選択した都道府県は、その内容を記載してください。

へき地看護に従事する看護職のための奨学金制度の有無

（１２）へき地診療所やへき地医療拠点病院、離島、山村・過疎、豪雪地帯等指定地域への就職を条件とした（又は就職を支援するための）奨学金制度がある場合は○を、ない場合は×を選択してください。【PD】

へき地に居住する者を対象とした看護職養成所等進学のための奨学金制度の有無

（１３）離島、山村・過疎、豪雪地帯等指定地域に居住する者を対象とした看護師・助産師・保健師養成所（看護系大学を含む）進学に関わる奨学金制度がある場合は○を、ない場合は×を選択してください。【PD】

## 10. その他について

### 市町村の取組について

- (1) へき地医療に関して市町村独自の取組がある場合は記載してください。ない場合は「なし」と記載してください。(※)

### 住民に対する啓発活動

- (2) 都道府県が、へき地医療に関して住民に対する啓発活動等を行った実績がある場合は、その具体的内容を記載してください。ない場合は「なし」と記載してください。

## 11. 課題抽出と改善策の検討等

### 提示された事例からの応用

- (1) 今回提示された他県の事例について、評価できる点、自らの都道府県のへき地保健医療計画に応用できる点を記載してください。

### 課題抽出

- (2) 上記のへき地を中心とする地域医療分析の項目のうち、へき地保健医療計画を策定するにあたり課題となる項目を列挙してください。

### 改善策の検討

- (3) (2) の課題について改善策を検討し、その内容を記載してください。



資料3

へき地を中心とした地域医療分等等の結果のまとめ

		N=43						1	2	3	4	5	6
		○	×	無回答・他									
1. 都道府県の取組について													
(1)	第10次へき地医療計画策定の有無	36	84%	7	16%	0	0%	○	○	○	○	○	
(2)	第10次へき地医療計画を策定しなかった理由	/											
(3)	へき地医療計画策定に関する協議会の有無	28	65%	15	35%	0	0%	×	○	○	×	×	
2. へき地で勤務する医師の確保について													
(へき地医療に従事する医師数調査について)													
(1)	へき地医療に従事する医師数調査の有無	18	42%	25	58%	0	0%	○	×	×	×	×	
(2)	へき地医療に従事する医師数調査の項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療科別医師数の推移</li> <li>・1日平均患者数(入院、外来)</li> <li>・勤務医の状況(専任医数)</li> <li>・派遣医師の状況(派遣医師数、受入派遣医数)</li> <li>・緊急に確保が必要な医師数(診療科別)</li> <li>・求人活動の有無</li> </ul>											
(3)	へき地医療に従事する医師の必要数	平均値	184.9	(人)									
(4)	へき地医療に従事する医師の不足数	平均値	30.8	(人)									
(5)	へき地医療に従事する医師数	<p>総合診療医</p> <p>へき地医療に対する理解があり、かつ、専門医との連携の下で、患者の全身の状態を踏まえ、総合的に診療する能力を有する総合診療医</p> <p>地域に密着した医療活動が可能な医師、総合的に診療が可能な医師、長年にわたりへき地医療に従事可能な医師、経験が豊富な医師</p> <p>年齢や性別、偏重に偏らなく、心もめた全身の健康問題に対応できる医師であり、住民と信頼した生活を送っている方。</p>											
(6)	へき地医療に従事する医師確保のための取組の有無	36	84%	7	16%	0	0%	○	○	○	×	○	
(7)	へき地医療に従事する医師確保のための取組の内容	<p>【〇〇県医師養成確保等奨励金交付事業】</p> <p>地域医療を担う医師の養成・確保</p> <p>【地域医療支援センター事業】</p> <p>医師派遣を要する地域の医療機関に다가病院から医師を派遣</p> <p>無料職業紹介所の開設</p> <p>総合診療医を養成するための「地域病院院員手厚研修事業」の実施。</p> <p>今年度より研修年限の勤務先に国保診療所を併設、医学生産学資金「市町村医師奨励金」を新設した。</p> <p>地域医療を担う医師の確保に向けて、地域医療に一定の期間従事することと派遣奨励金交付を併設した。</p>											
(8)	へき地医療に従事する医師確保のために必要な取組の有無	35	81%	7	16%	1	2%	×	○	○	○	○	
(9)	へき地医療に従事する医師確保のために必要な取組の内容	<p>（今後）平成22年度より、「〇〇県医師養成確保等奨励金」を新設し、医師の養成に合わせた全学的な配置、専門医等の養成プログラムの開発、医師がそれぞれのステージにおいて希望するキャリア実現のために必要な研修や再教育を提供する。</p> <p>県医師養成事業により養成された医師及び自治医科大学卒業医師のキャリア形成の観点からの計画的な配置調整。</p> <p>学内研修等による数日間の代替診療等に対応するための「ドクターショートヘルプ」や、県内医療機関への救急搬送・紹介等を行う「ドクターバンク」を開設している。</p>											
(10)	自治医科大学卒業医師数	52.3	(人)										
(11)	自治医科大学卒業医師派遣率(内定率)	35.3	(人)										
(12)	自治医科大学卒業医師のへき地定着率	67%											
(13)	自治医科大学卒業医師のへき地定着率	9.3	(人)										
(14)	自治医科大学卒業医師のへき地定着率	17%											
(15)	自治医科大学卒業医師のへき地定着率	4.9	(人)										
(16)	自治医科大学卒業医師のへき地定着率	10%											
(17)	へき地医療に従事することを条件とした地域枠の有無	19	44%	24	56%	0	0%	○	×	×	×	×	
(18)	へき地医療に従事することを条件とした奨学金の有無	25	58%	15	35%	3	7%	○	○	×	○	○	
(19)	へき地医療関連学費減免等の有無	26	60%	16	37%	1	2%	○	×	×	○	○	
(20)	自治医科大学卒業医師等の定着を促す取組・工夫の有無	21	49%	22	51%	0	0%	×	○	×	○	×	
(21)	自治医科大学卒業医師等の定着を促す取組・工夫の内容	<p>本年度からへき地医療支援のローテーションに入っている自治医科大学卒業医師を専任医師から専任医師本務とし、得業の安定した職場の確保が可能とした。(勤務明け後の取り戻し等)</p> <p>(今後)平成22年度より、「〇〇県医師養成確保等奨励金」を新設し、医師の養成に合わせた全学的な配置、専門医等の養成プログラムの開発、医師がそれぞれのステージにおいて希望するキャリア実現のために必要な研修や再教育を提供する。</p> <p>〇〇大学社会人大学院へ入学希望があった場合は、勤務先と調整することとしている。</p>											
(へき地医療に従事するための勤務付け支援等について)													
(19)	大学と協同したへき地医療に従事する医師確保対策の有無	31	72%	12	28%	0	0%	○	×	○	×	○	
(20)	大学と協同したへき地医療に従事する医師確保対策の内容	<p>大学が設定する奨励金を対象とした地域枠入学制度に対応した奨学金の貸付によるへき地医療に従事する医師の確保(へき地が条件ではない。)</p> <p>(今後)平成22年度より、「〇〇県医師養成確保等奨励金」を新設し、医師の養成に合わせた全学的な配置、専門医等の養成プログラムの開発、医師がそれぞれのステージにおいて希望するキャリア実現のために必要な研修や再教育を提供する。</p> <p>併設講座「総合地域医療推進学講座」で、3年生に「3年次早期地域医療実習」を実施しており、訪問診療等の体験としている。</p>											
(21)	自治医科大学卒業医師のコミュニケーションの有無	39	91%	4	9%	0	0%	○	○	×	○	○	
(22)	へき地医療に従事することを条件とした地域枠学生・奨学金とのコミュニケーションの有無	25	58%	17	40%	1	2%	×	○	×	×	○	
(23)	へき地医療に従事することを条件とした地域枠学生・奨学金に対する特別なケアプログラムの有無	18	42%	24	56%	1	2%	○	○	×	×	×	

7	8	9	10	13	15	16	17
○	○	○	○	○	○	○	○
△	△	△	△	△	△	△	△
○	×	○	○	○	○	×	×

※計画策定時(H24予定)に開催

○	×	×	×	○	×	×	○
へき地診療所及びへき地拠点病院に関する調査で、医師数を記載する項目。	へき地医療拠点病院の必要数			医師確保に関する調査 (①診療科目別の医師等の確保状況②医師数等の確保形態の運用条件等に関する要請)			病院、診療科、常勤・非常勤の別
36	202	31		36	62	24	68
5	25	3		2.5	32	0	12
へき地医療拠点病院の不足数	へき地医療拠点病院の不足数						
・総合診療が可能な医師(総合医・家庭医) ・外科処置ができる医師 ・看護業務が可能な医師 ・地域住民の属層のために、情熱をもって地域医療に従事しようとする医師 ・へき地医療には高度なノウハウが必要としないが適切な能力が求められるため、一定の経験年数があるベテランの医師 ・高齢病院と連携出来る医師 ・地元で育つことが出来る医師 ・高齢の患者が多いため、診療行為を行う上で介護や福祉分野との連携を元にした総合的な医師 ・地域住民の多様な家族(健康診断、予防接種等)に応えられる医師	総合診療能力を有する医師	地域の特性を考慮しながら、公衆衛生的な観点を持ち、内科を主とし、地利にも最適した総合診療ができる医師	へき地医療に対する情熱を持ち、地域住民と円滑にコミュニケーションできる医師	初期対応ができる総合的な内科医師が求められる	(拠点病院・赤十字の要請) へき地医療に意欲のある医師 総合診療等幅広い分野に総合的に対応できる医師 地方の社会環境に適応可能な医師 地域住民とのコミュニケーション能力がある医師	地域の子どもから大人まで、医療・保健・福祉・介護まで包括的に診ることが出来る医師	

○	○	○	×	○	○	○	○
へき地勤務を条件とした奨学金制度の設置 へき地医療支援推進採用促進によるへき地診療所等への代替派遣 県立医科大学地域医療支援センターからの医師派遣	医師奨学金貸付制度の推進 自治医科大学卒業医師の派遣	県ホームページに医師募集の情報を掲載した		○県へき地勤務医師等確保事業(国・県) ○県地域医療支援センター事業(へき地以外も含む・県費) ○県市町村立病院医師派遣事業補助(へき地以外も含む・郡県・医師派遣選手権) ○県へき地医療支援推進補助事業(へき地医療機関の医療従事者を対象)	地域医療を担う医師の確保を目的とした取組の促進 ・県立医科大学と連携し、若手医師が就業しやすい体制の整備 ・子育て支援体制、柔軟な勤務制度、良好な住環境の整備等医療以外の体制の充実	(へき地医療だけに限定していないが)地元大学において ①専任講師「地域医療支援学」講座の発行、高学位生を対象としたセミナーの開催 ・県の官制により〇〇大学に「総合地域医療学講座」を設置	①自治医科大学 ②〇〇大学等に特別枠を創設 ③地域医療人材バンク
○	○	○	×	×	○	○	○
自治医科大学卒業医師の職務明け後の継続した勤務のさらなる促進	自治医科大学卒業医師、奨学金貸付と医師の派遣などをはじめとした医師の確保	地域の理解と協力を得ながら、へき地医療におけるメリット(魅力)を打ち出ししていく		(但し、他に自治医科大学に0人就職しているため、地域医療に貢献している)	(拠点病院等の要請) 電子カルテの導入等、若い医師が就業しやすい体制の整備 ・子育て支援体制、柔軟な勤務制度、良好な住環境の整備等医療以外の体制の充実	(7)と同じ	へき地医療に従事する医師のパックアップ体制の強化
46	52	67	48	60	54	47	47
23	30	42	40	32	47	35	37
50%	58%	63%	83%	53%	87%	74%	79%
5	4	1	5	3	13	31	1
11%	8%	1%	10%	5%	24%	66%	2%
3	2	1	2	1人に満たない	2	4	0
7%	4%	1%	4%		4%	9%	0%
×	○	○	×	○	×	×	○
○	○	○	×	○	○	×	○
×	○	○	×	×	○	○	○
○	○	×	×	×	○	×	○
へき地を含め、自治医科大学卒業医師の県内定着を図るため、職務年間の後継研修について県内で実施する場合には活動拠点を確保し、研修期間に係る研修料等納入費を支払う。	自治医大生、専学生を対象とした病院見学会や懇談会を実施し、卒業の定着を図っている。			○県地域医療支援センター事業(自治医科大学卒業医師が毎年複数回付後、有期定着して再派遣し地域医療に貢献できるような仕組みを創設)	・県職員としての採用・身分保障 ・自治医科大学卒業医師との定期的なコミュニケーション ・〇〇大学との連携	へき地医療だけに限定していないが (へき地医療だけに限定していないが) ①専任講師「地域医療支援学」講座 ②地域医療について学位(教育・研修・実習)を行うNPO法人への支援	①職務年間の自治医科大学卒業医師に対し、職務年終了後、基幹病院である県立中央病院における就業を誘致し、県内定着率の向上を図る。 ②自治医科大学卒業医師を有した地域医療を担う医師等からの相談体制を整備するため、地域医療推進型に専任医師を配置。 ③本県出身の自治医科大学卒業生及び在学学生と関係保持を交えた懇談会を毎年開催。

○	○	○	○	○	○	○	○
県立医科大学地域医療支援センターからの医師派遣	大学と連携し、へき地等の診療所に派遣医を派遣し、研修医や医学生が地域医療を実施できる場の提供を行っている。	自治医科大学における地域特設の設置	自治医科大学説明会	(県)〇〇県へき地勤務医師等確保事業による県内大学病院等の事業協力病院から、へき地へ医師を派遣。 (へき地)へき地で上記事業協力病院から研修医を受け入れ、へき地医療に従事。	・県立医科大学と連携し、若手医師が就業しやすい体制の整備 ・自治医科大学卒業医師との定期的なコミュニケーション ・〇〇大学との連携	へき地医療だけに限定していないが (へき地医療だけに限定していないが) ①専任講師「地域医療支援学」講座 ②地域医療について学位(教育・研修・実習)を行うNPO法人への支援	特別講座による医師派遣
○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	×	×	○	×	○
○	○	×	×	×	○	×	×

	○		×		無回答・他		1	2	3	4	5	6
(24)	地域医療従事者に対する財政的支援の有無	30	70%	13	30%	0	0%	×	○	×	○	○
(25)	へき地医療従事者のメリットについてのPRの有無	17	40%	26	60%	0	0%	×	×	×	×	×
(26)	中学生・高校生を対象とした研修等の有無	23	53%	20	47%	0	0%	○	○	×	○	○
(へき地医療を担う総合医の育成支援について)												
(27)	全医学生に対するへき地医療研修教育の有無	29	67%	14	33%	0	0%	×	×	○	○	○
(28)	全医学生がへき地医療研修を体験できるカリキュラムの有無	21	49%	22	51%	0	0%	×	○	×	○	○
(29)	総合医育成のための後継臨床研修プログラム等の有無	25	58%	17	40%	1	2%	○	○	○	×	○

3. へき地医療支援機構について

(1)	へき地医療支援機構の設置の有無	39	91%	4	9%	0	0%	○	○	○	○	○	
(2)	へき地医療支援機構の運営者							県、大学、県医師会、へき地拠点病院他	事務局(保健福祉部医療推進課)	県	JA○○厚生連 ○○総合病院	県	
(3)	へき地医療支援機構への代診医派遣依頼件数	77.6 (件)						0	0	33		247	
(4)	へき地医療支援機構からの代診医派遣実績	平均値 88.6 (回)						0	0	33		247	
	代診医派遣依頼回数	平均値 115.5 (日)						0	0	33		247	
(5)	へき地医療支援機構の評価、指導、公開の有無	5	12%	34	79%	4	9%	×	○	×	×	×	
(6)	へき地医療支援機構の評価、指導、公開の内容							機構の運営委員会をプレスに対して公開している					
(7)	へき地医療支援機構に対する支援の有無	22	51%	14	33%	7	16%	×	×	×	○	○	
(8)	へき地医療支援機構に対する支援の内容							補助金(国1/2、県1/2)					

(へき地医療支援機構の業務について)

(9)	派遣医師の登録業務の実施の有無	17	40%	23	53%	3	7%	○	○	×	×	×
(10)	派遣医師の登録業務を行っている組織、部署							財団法人 地域医療振興財団	保健福祉部医療推進課			
(11)	医師派遣の調整等の業務実施の有無	28	65%	12	28%	3	7%	○	×	×	○	○
(12)	医師派遣の調整等の業務を行っている組織、部署							財団法人 地域医療振興財団	保健福祉部医療推進課		支援機構が担う	
(13)	へき地医療従事者に対する研修計画の作成等の業務実施の有無	10	23%	30	70%	3	7%	×	×	×	○	×
(14)	へき地医療従事者に対する研修計画の作成等の業務を行っている組織、部署										支援機構が担う	
(15)	総合的診療支援事業の企画・調整等の業務実施の有無	13	30%	27	63%	3	7%	×	×	○	×	×
(16)	総合的診療支援事業の企画・調整等の業務を行っている組織、部署										支援機構が担う	
(17)	へき地医療拠点病院の活動の評価の有無	13	30%	27	63%	3	7%	×	○	×	○	×
(18)	へき地医療拠点病院の活動の評価を行っている組織、部署								保健福祉部医療推進課		支援機構が担う	
(19)	へき地医療拠点病院における巡回診療の実施に関する業務実施の有無	15	35%	25	58%	3	7%	○	×	×	×	○
(20)	へき地医療拠点病院における巡回診療の実施に関する業務を行っている組織、部署							○○県保健福祉部医療政策局地域医療推進課			へき地医療拠点病院の協力のもと進める巡回診療などによる業務はないが、実施が必要な場合には県(医療政策課)が調整する。	支援機構が担う
(21)	地域医療分析実施の有無	12	28%	28	65%	3	7%	○	×	×	○	×
(22)	地域医療分析を行っている組織、部署							○○県保健福祉部医療政策局地域医療推進課	保健福祉部医療推進課		支援機構が担う	
(23)	へき地医療支援に役立てている医師に対する研究費の配分に関する業務実施の有無	2	5%	38	88%	3	7%	×	×	×	×	×
(24)	へき地医療支援に役立てている医師に対する研究費の配分に関する業務を行っている組織、部署										本県では、へき地医療に従事している医師に対する研究費及び学会出席費に係る補助制度を有するが、補助要件に診療日数の条件が付けられているが、条件を満たさないため、予算化していない。	
(25)	へき地医療情報システムの新規導入、更新、管理等の業務実施の有無	14	33%	26	60%	3	7%	×	×	×	○	×
(26)	へき地医療情報システムの新規導入、更新、管理等の業務を行っている組織、部署											
(27)	へき地医療に従事する医師に対する継続研修等の業務実施の有無	13	30%	27	63%	3	7%	○	○	×	○	×
(28)	へき地医療に従事する医師に対する継続研修等の業務を行っている組織、部署							財団法人 地域医療振興財団				○○県ドクターバンク
(29)	へき地医療に従事する医師のドクターバンク機能の有無	11	26%	29	67%	3	7%	○	○	×	×	×
(30)	へき地医療に従事する医師のドクターバンク機能を持っている組織、部署							財団法人 地域医療振興財団	保健福祉部医療推進課			
(31)	へき地医療に従事する医師のキャリアアップ育成機会の有無	8	19%	32	74%	3	7%	×	○	×	×	×
(32)	へき地医療に従事する医師のキャリアアップ育成機を持っている組織、部署								保健福祉部医療推進課			
(33)	へき地医療従事者に対する協働会での助言、調整等の業務実施の有無	29	67%	11	26%	3	7%	○	○	○	○	×
(34)	へき地医療従事者に対する協働会での助言、調整等の業務を行っている組織、部署							○○県医療対策協議会 ○○県保健福祉部医療政策局地域医療推進課			支援機構が担う	

7	8	9	10	13	15	16	17
○	○	×	○	○	○	○	×
○	○	○	×	○	○	×	○
○	○	×	×	×	○	○	○
○	○	○	×	×	○	×	×
○	○	○	×	×	○	×	×
○	×	○	×	○	○	○	×
○	○	○	○	○	○	○	○
○○県	○○県立病院長	○○県	○○県	○○県(運営)	○○県	○○県厚生部医療課	県
7	34	0	4	66	0	0	
				へき地診療所分			(福島における年1回の専門医による診療)
267	34		4	66	0	0	1
1825	34		4	548	0	0	2
○	×	×	×	×	×	×	×
へき地医療支援総合調整会議において行っている。							H22年度は8名の医師で実施
○	×		○		○	×	×
県で直接運営、事務費(設備費、旅費、業務費、印刷費、使用料及び賃借料)を支出している。		運営のため「支援」ではない	運営費補助(国庫)	○○県が運営のため	国庫補助制度を活用した運営費の助成		
×	○	×	○	○	×	×	×
	県立病院企画情報室				○○県医師会が勤務医ショートサポート事業を行い、支援を受けるへき地等医療機関と支援を行う開業医のマッチングを行い医師を派遣 ○○県はこれに対し財政的な支援を行っている。	公立○○中央病院、○○市民病院	○○県地域医療人材バンク(○○県地域医療推進室)
○	○	×	○	○	×	×	×
	県立病院企画情報室				○○県医師会が勤務医ショートサポート事業を行い、支援を受けるへき地等医療機関と支援を行う開業医のマッチングを行い医師を派遣 ○○県はこれに対し財政的な支援を行っている。	公立○○中央病院、○○市民病院	○○県地域医療人材バンク(○○県地域医療推進室)
○	×	×	×	×	×	×	×
						○○市民病院、○○市民病院	○○県立中央病院
×	○	○	×	○	○	×	×
	県立病院企画情報室			○○県福祉保健局医療政策部救急災害医療課		○○中央病院	
×	○	×	○	×	×	×	×
県担当部局(病院局病院総務課)	県立病院企画情報室					○○市民病院、○○総合病院	
×	×	○	○	×	×	×	×
県担当部局(病院局病院総務課)				へき地医療拠点病院では巡回診療は実施していない	○○県医師会	○○市民病院、○○総合病院、○○医科大学○○市民病院、○○市立総合病院、公立○○中央病院	
○	×	×	○	×	○	×	×
				○○県福祉保健局医療政策部救急災害医療課			○○県地域医療人材バンク(○○県地域医療推進室)
×	×	×	×	×	×	×	×
県担当課(地域医療課)						○○中央病院	
×	×	×	×	○	×	×	×
県担当課(地域医療課)							
×	×	×	×	○	×	×	○
県担当課(地域医療課)		○○県医師会支援センター					○○県地域医療人材バンク(○○県地域医療推進室)
×	×	×	×	×	×	×	×
			○○県	○○県福祉保健局医療政策部救急災害医療課			
×	×	×	×	×	×	×	×
						○○中央病院	
○	○	○	○	○	○	×	×
へき地支援機構において協議会である へき地支援総合調整会議を運営している。	県立病院企画情報室			○○県福祉保健局医療政策部救急災害医療課			